

平成30年交野市議会第4回定例会

所 信 表 明

平成30年10月1日

交野市長 黒田 実

1. はじめに

本日、平成30年第4回議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご出席賜りまして厚く御礼申し上げます。

議長のお許しをいただき、議会開会にあたり、2期目就任のご挨拶と、今後の市政運営に対する基本的な考え方を謹んで申し述べさせていただきます。

はじめに、昨日に上陸しました台風24号について、速やかに交野市災害対策本部を設置し、避難所の開設を行うと共に、被害情報等の収集を行いました。幸いにも命に関わるような被害は確認されておりませんが、現在も、被害状況の全容把握に取り組んでいるところでございます。

この夏は災害の夏でございました。大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号並びに北海道胆振東部地震で被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地が一日も早い復旧・復興を遂げられますことをお祈り申し上げますとともに、本市におきましても、支援について引き続き実施してまいります。

さて、去る9月9日に行われました市長選挙に際しましては、市民の皆さまをはじめ、多くの議員の皆さまにご支援を賜り、再び市長として市政運営にあたることとなりましたことは誠に光栄でありますとともに、その職責の重さ、大きさを改めて痛感しているところでございます。

少子化・高齢化、人口減少という社会潮流の中で、先人たちが築き上げてきた、自然や歴史・文化などの魅力に溢れる素晴らしい交野のまちを、いかに活力あるまちとして維持するのか、それぞれの世代の暮らしをどう支えるのか。老朽化が進む公共施設、市民サービスや行政機能の拠点を、どう維持・更新していくのか。この背景・課題は4年前と変わっていません。

一方、全国7割以上の自治体が転出超過の中、昨年、交野は転入超過となりました。子育て世代に交野が選ばれだしているという兆しが見えております。

これまでの4年間で成果が出ている、出つつあるものについては、さらに確かな流れに、また、準備をしてきたものについては、具体的な成果につなげていけるよう、交野市政発展のため、全身全霊を傾注してまいります。

これまでの取り組みに感謝し、これからの取り組みにつきまして、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

2. 重点的に取り組む施策について

全国的に進行している少子化・高齢化、そして人口減少は、暮らしの姿を大きく変えていきます。

まちの活力を維持していくためには、子どもたちがのびのびと成長し、現役世代は元気に働き、シルバー世代は健康寿命を延ばし安心していきいきと暮らす、これら3世代の相互理解と支え合いが重要な基盤となります。

本市においても、既に4人に1人が65歳以上の高齢者であることから、この支え合いの基盤をしっかりと維持するためにも、絶えずまちの魅力を磨き、新たな若い世代を迎え入れる環境を整え、健全で持続可能な人口構成を目指していく必要があります。

また、先ほども触れましたが、毎年のように発生する大規模な自然災害により、行政をはじめ市民の皆さまの危機意識が大きく高まっています。

もはやこれらの大きな自然災害はいつでも起こり得るものとの認識のもと、自助・共助・公助の役割分担と連携を基礎として、迅速に対応できる組織や相互に助け合える地域、災害に強いまちづくりを目指していく必要があると考えております。

この選挙では、5つの重点施策を掲げ、市民の皆さまに訴えてまいりました。

これらの施策については、今年度中に、市長戦略として具体的な形をお示ししたいと考えておりますが、この場において、その想いの一端を述べさせていただきます。

(1) 子どもが元気に成長する環境づくり

まちの活力の源である若い世代に、住んでみたい、住み続けたいと思っていただくためには、子どもたちがのびのびと元気に成長できる環境が不可欠です。

これまでも重点的に取り組んでまいりました「子育て」と「教育」分野の施策について、更に充実を図るべく進めてまいります。

「子育て」については、認定こども園や放課後児童会の待機児童をなくすことに最優先で取り組むとともに、市全体の幼児期保育の充実に取り組むことで、安心して子供を産み育てることができる環境を整えるほか、妊娠から子育てまでの切れ目ない支援の充実や、子どもの居場所づくりについても取り組みを進めてまいります。

特に、市立認定こども園の3園のうち老朽化が進む1園について、森新池を移設地として、2年後の開設に向けた準備が進んでいます。この新しい認定こども園では、従来の公立保育の良さと民間の運営ノウハウとが調和し、先進的で質の高い幼児教育・保育が実践される場となることを、大いに期待しているものです。

「教育」については、これからの時代の変化、環境の変化に、子どもたちがしっかりと対応し、社会の中で活躍していけるよう、外国語対応力・言語活用力・論理的思考力の3つを柱とする「生きる力」を、小中学校の9年間を見通した一貫性のある教育で伸ばしてまいります。

また、子どもたちの成長の舞台となる学校についても、時代の変化に対応した規模の適正化や施設の老朽化対策に本格的に着手し、より良い教育環境を目指してまいります。

(2) 支え合う健康・福祉のまちづくり

少子高齢化や超高齢社会というキーワードがクローズアップされていますが、人生を送る上で、加齢は誰もが迎えるもの、平等に訪れるものです。子どもの成長を喜びながらいきいき暮らすシルバー世代は現役世代の目標でもあるはずです。

いつまでも健康で、そして住み慣れた住まいや地域で自分らしい暮らしを続けること

ができるよう、医療や介護、生活支援や介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの充実や、認知症高齢者に向けた支援を進めてまいります。

また障がいがある人への支援についても、ライフステージに応じた切れ目ない支援を行うとともに、障害者差別解消法の趣旨に則り、相互理解を深めるための取り組みを進めてまいります。

(3) みんなで安全・安心なまちづくり

市民にとって住み続けたいまちであるためには、暮らしの安全・安心や、人権が尊重された平和で穏やかな日常が確保されていることが必要です。

自然災害が頻発する中、その初期対応から復旧・復興にかけて、自治体の果たす役割はますます重要となっております。

これまでも、危機管理室の設置によるマネジメントの強化や、消防救急職員の増強、枚方寝屋川消防組合、生駒市消防本部との相互応援協定など、ソフト面での充実を図ってまいりましたが、先の大阪北部地震では、耐震化が図られていない市役所本庁舎にも被害が発生しました。

災害の発生により庁舎が機能不全に陥ることで、初期対応や復旧の遅れや妨げとなり、市民の皆さまに対する支援の停滞があってはなりません。

これまでの災害対応の課題について整理・検討を進め、公共施設等総合管理計画や再配置計画との整合を図りながら、暮らしの安全・安心を守る拠点としての庁舎整備にも、本格的に着手してまいります。

また、まちの防災力や防犯力の強化は、行政だけでなく、地域や市民の皆さまそれぞれの役割分担と相互の連携により、トータルでレベルを高めていくことが求められます。そのための情報共有の仕組みや正しい知識の啓発、地域防災力・防犯力強化のための財政支援など、これまでの経験や実績を踏まえた取り組みを進めてまいります。

(4) 地域の活力と雇用を生む基盤づくり

少子化・高齢化が進む中で、3世代に安心して元気に暮らしていただくための施策とあわせて、人口減少の中でも、交野の活力を維持する、まちを元気にする取り組みも重要であります。

現在、地権者が主体となり進められている星田北エリアのまちづくりは、第二京阪道路とJR星田駅に囲まれた交通アクセスの良さを活かし、計画的な道路ネットワークや公園の整備など、乱開発を防止し、農業・住居・産業が調和した、将来にわたって魅力あるまちを創出しようとするものです。

住民誘致につながるだけでなく、商業施設や医療・福祉施設、企業の進出により、地域経済の活性化や身近な雇用も大いに期待できるプロジェクトであります。

本市としても、より一層、技術的支援や公共施設整備に係る支援など、交野の活力を生む都市基盤づくりを進めるとともに、まちの魅力発信にもさらに取り組み、移住・定住人口の増加、企業誘致につなげてまいりたいと考えております。

(5) 未来へつなぐ環境づくり

交野は古くから人が住み、先人たちによって歴史・文化が育まれ、多くの魅力があるまちです。中でも、身近に広がる自然は誰もが認める交野の魅力・財産であり、日々の生活の糧である水道水、季節の農産物、四季折々の風景など、私たちは豊かな自然の恩恵の中で暮らしています。

この環境を次世代に引き継げるよう、継続的な里山保全や活用の取り組み、地球的課題である低炭素社会にむけた環境マネジメントシステムの運用、再生可能エネルギーの導入など、環境に優しいまちづくりを進めてまいります。

また、次の10年を見据えた中長期的な計画である総合計画や都市計画マスタープランの改訂にも着手してまいります。

3. 結び

これらの政策を進めていくためには、行政の持つ、人・もの・お金・情報といった資源を効率的に活用していかなければなりません。

市の財政は依然として厳しい状況にありますが、将来を見据え、やるべきことを着実に実施していくために、市役所の職員力・組織力を強化し、行政運営機能や財政基盤の強化に取り組んでまいります。

今回の選挙を通じて、市の方針や取り組みが、市民の皆さまに正確に伝わっていないところもあると感じました。特に、公共施設再配置関連や学校規模の適正化、星田北エリアの区画整理事業など、これまで関係者・関係団体の皆さまとともに進めてきたところではありますが、今後のまちづくりに影響が大きいプロジェクトについては、各プロセスの事務・事業をこなすだけでなく、関係者と協力しながら、よりの確なわかりやすい情報の発信に努めてまいります。

子どもたちがのびのびと成長し、現役世代が元気に働き、シルバー世代の方々が高齢を健康寿命を延ばし、交野の魅力を活かしながらまちの活力をしっかりと維持し、「住みたい」、「住み続けたい」、「住んで良かった」と思える交野に向けて、市民の皆さまとともに、このまちを一步前へ進めていく所存でございます。

最後になりましたが、今議会に審議をお願いいたします案件は、専決処分事項報告2件、平成29年度交野市健全化判断比率報告1件、平成29年度交野市下水道事業特別会計他1会計の資金不足比率の報告が2件、人事案件が2件、平成29年度一般会計をはじめとする各会計決算認定が7件、条例の制定が1件、和解及び損害賠償の額の決定が1件、平成30年度一般会計をはじめとする各会計補正予算3件となっております。

詳細につきましては議案ごとに改めて担当者から説明申し上げますので、慎重ご審議いただき、ご賛同賜りまして、ご可決くださいますようお願い申し上げます。

この任期中には、交野市政50周年を迎えることとなります。

この節目を機会に、このまちを築き育ててこられた先人に感謝するとともに、未来に繋がるステージ・節目となるよう、皆さま方と調整を図ってまいりたいと考えております。

議員の皆さまをはじめ市民の皆さま方におかれましては、市政に対する私の思いをお汲み取りいただき、これまで以上のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、2期目就任にあたっての所信とさせていただきます。

ありがとうございました。